

教員免許更新講習運営報告

更新講習「小学校英語実践講座」運営報告

平田 淳子、福智佳代子、石原 敬子
鶴田ひろ子、細野 紀子

1. 更新講習の概要

平成 19 年 6 月の改正教育職員免許法の成立により、免許更新制度の一環として、平成 21 年度から教員免許更新講習（以下、更新講習）が実施されることになった。その目的は、「教員免許更新制は、その時々で教員として必要な資質能力が保持されるよう、定期的に最新の知識技能を身に付けることで、教員が自信と誇りを持って教壇に立ち、社会の尊敬と信頼を得ることを目指すものです。」^[1]である。

更新講習は、

- ①教育の最新事情に関する事項
- ②教科指導、生徒指導その他教育の充実に関する事項

の分野において実施され、講習受講が必要とされる教員は、それぞれ 12 時間以上、18 時間以上、合計 30 時間以上の講習を受講・修了することが必要になっている。

文部科学省ホームページにおける例や各大学の実施状況から見ると、①は「学校教育全体」について、②は「学校種別、教科別の詳細」についての内容が多いようである。以下の表に一例をまとめておく。

表1. 更新講習の内容例

分 野	開 講 科 目 例
①教育の最新事情…	・教育の最新事情
②教科指導、生徒指導 その他…	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校での英語教育講座（小学校、英語） ・発達障害への対応（小学校） ・地理学習の基本（社会） ・環境教育の実践（小学校） ・中学校教員のための数学（中学、数学）

2. 本学の取り組み

本学には、幼稚園、小学校、中学校・高等学校英語の教職課程が置かれているが、教職課程を持つ大学の責務として、また、教育に対する社会貢献のひとつとして、平成21年度より、学内において更新講習を実施することになった。

開講科目は、本学において長年蓄積された英語教育のノウハウを小学校現場の先生方の英語指導に役立ててもらおう目的で、「小学校英語実践講座」（分野②）とした。なお、この講座は、前年度にも本学独自の「サマースクールプログラム」として開催され、好評を得ていることも選択の理由である。

学内で更新講習実施が決定したのが、4月で、以降、至急、計画→募集→実施をおこなった。5月までに計画を作成、同月文部科学省に実施の申請、7月に認可が下り、即時、8月におこなう講習の募集を開始することになった。

以下に、スケジュールを示しておく。

表2. 本学における更新講習実施スケジュール

時	期	内	容
4	月	学内開催決定、計画	
5	月	文部科学省への申請	
7	月	認可	
8月(8/5～8/7)		「小学校英語実践講座」実施	

3. 実施と反省点

更新講習は、これまでおこなわれてきたサマースクールプログラムとの共同開催となった。受講者数は、4名（キャンセルなし）であった。8月5日～7日の3日間おこなわれ、参加の先生方には、全員無事受講を修了していただいた。

プログラムの詳細は、本紀要、サマースクール実施報告「神戸海星女子学院大学サマースクール『小学校英語実践講座』小学校英語活動指導者養成を目指して」を参照してもらいたい。

受講生に対するアンケート調査では、おおむね好評の意見をいただいたが、実施の中で、いくつか反省点も浮かんできた。

受講生に対する反省点として、今回の更新講習の実施が4月決定ということで告知期間が短く、また、サマースクールと同時開催としたことで実施日時の調整がつかず、募集という点では準備不足であったことがあげられる。

さらに、本学では、幸いキャンセルはなかったが、他大学ではキャンセルが頻発し、その処理に追われたという報告がされている。本学においてもキャンセルへの対応について十分な議論と準備の必要があった。

また、気象警報や交通機関に運休に対する予備日程が確定されていな

かったり、連絡事項に対して受講者とのメールのやり取りがうまくいかなかったりという問題点もあった。

学内的な反省点としては、サマースクールと更新講習が共同開催であったため、責任部署があいまいになってしまったことがある。

文部科学省の管理システムも本学のような小規模校にとっては適当ではなかったことも問題点ではないかと思われる。

このような反省にもとづき、次年度からは、

- ・ 早めの開催決定（すでに開催決定済み）
- ・ 予備日程、キャンセルへの対応の明文化
- ・ 役割分担の確認

などをおこなっていく予定である。

最後に、関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

参考文献

- [1] 文部科学省ホームページ http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/koushin/index.htm